

駐妻のヒューストン日記

第205回 藤崎智子 さん

ヒューストンでの生活も五年目に入った。

しかし、相変わらず英語も車の運転も苦手。そんな私の楽しみは「食」だ。食べるのは勿論、作ることも好きだ。

仲良しの韓国人の友達が作ってくれるチャプチェやプルコギは親子共々大好物。韓国のお正月に食べる、お餅の入ったスープや、アーモンドと砂糖を中に包んだモチモチのホットケーキ風お菓子も初めて食べた。近所の持ち寄りランチ会で食べた、エジプトの豆コロッケを挟んだサンドイッチは最高だった。スコットランド人がその場で焼き上げたレモンメレンゲパイは、見た目も華やかでどこの国の人からも喜ばれていた。私はコロッケを持参したのだが、宗教の違いを配慮せず豚肉を使用した為、全員には食べてもらうことが出来なかった。熱々を持って行ったのに残念だった。その後は宗教のことも考えて、豚や牛を使用しないものを持って行くようにしている。スモークサーモンとアボカドの手まり寿司やポテトサラダ、唐揚げ、プリンはいつも喜ばれるのでおすすめだ。

子ども達のアート教室の先生でもあった友達からは、日本では滅多とお目にかからないアルジェリアのお菓子を教わった。日本では料理に砂糖を使うの？と驚いていた彼女が作るお菓子は、とても甘い。三日月型をしたTcharek(チャ



▲Tcharek

ラク)、アーモンド粉たっぷりのMakrout(マクルート)、とても薄い生地を何層にも重ねたBaklava(バックラヴァ)。どれもアーモンド、砂糖、卵、バター、小麦粉など同じような材料を使って、丁寧な作業で様々なお菓子に変えていく。そんな彼女のお菓子が私は大好きだ。



▲Baklava

久しぶりにTcharekを作ってみた。一人で初めて作った日を思い出した。上手く出来ず、彼女にアドバイスをもらおうと連絡したら、すぐに家まで来てくれた。生焼けだったTcharekを「美味しい」と言って笑ってくれた。二年前の夏にフランスに引越した彼女。「さようなら」は嫌だからと「またね」と言ってハグしてくれた。温かいハグだった。大きく綺麗な目と太陽のように明るい笑顔が印象的だった。

これからも食を通して多国の文化に触れていきたい。オレンジの香りさわやかなTcharekぜひお試しあれ。

Tcharek (10個分)

- ①. All Purpose粉(250g)と塩ひとつまみと溶かしたバター(125g)を混ぜ、全卵(1/2個)とオレンジ花水(小さじ1)を加えて一つにまとめ、ラップをして寝かせる。
- ②. アーモンド粉(150g)とグラニュー糖(125g)とオレンジ花水(大さじ1/2)とシナモン少々を加えてよく混ぜる。
- ③. ①の生地を10等分にし長方形に薄くのばして、その上に1/10量の棒状にした②の種を置く。それを二つに折り、合わせ目をくっつけて、湾曲させ三日月型に整える。350°F下段で10分、上段に移し10~15分焼く。
- ④. 砂糖水(砂糖:水=1:2)に浸して水を切り、粉砂糖をまぶして出来上がり。

ピーカンキッズ ~読み聞かせの会~

サマータイムも終わり、朝夕涼しく、秋を感じる日が多くなってきました。秋といえば「食欲の秋」、「スポーツの秋」、「読書の秋」などさわやかな季節を楽しむ言葉がたくさんあります。今日は「読書の秋」にふさわしい、嬉しいお知らせです。

この度、図書館では福音館書店の子ども向け雑誌、計6冊の定期購読が始まります。図書館の絵本の蔵書はとても豊富で、海外に住んでいるとは思えないほど充実しているのは皆さんご存知のとおりです。一步外に出れば英語が飛び交う環境のなかで、日本語を忘れて欲しくない、できれば日本語も伸びて欲しい、変わらず日本語の本も楽しんで欲しいと願う一人の親として、図書館の存在はただただ感謝しかありません。

今回、読み聞かせの会はその月に毎月新しい日本語の絵本が届く楽しみを子どもたちに味わって欲しいと思い、子ども向け雑誌の定期購読をリクエストしたところ、図書館でご購入いただけることになりました。少しでも多くのお子さんが絵本を手に取り、今まで以上に絵本の世界を楽しむ機会になってくれることを願うばかりです。秋の夜長に、小さいお子さんでしたら膝にのせて、大きなお子さんでしたら隣に座って、温かさを感じながら大人も一緒に読んでいただくと嬉しいですね。それでは、これらの新しい雑誌を少しご紹介いたします。

『こどものとも 年少版』 対象年齢2-4歳

シンプルなものが多い絵本が多く、読み聞かせをしていると子どもが思わず指さして夢中になります。

『こどものとも 年中向き』 対象年齢4-5歳

この時期の子どもの主役はものがたり絵本だそうです。今年度は絵本「ぞうくんのさんぽ」シリーズの最新作「ぞうくんのはつゆきさんぽ」が1月号で登場します。

『こどものとも』 対象年齢5-6歳

福音館書店では、ものがたり、ことばあそび、新しい表現手法の絵本や文章が少し長い絵本などがありますが、自分で読むのではなく大人に読んでもらって楽しむことを大切にしているそうです。表紙を見るだけでどんなお話なんだろうと大人も楽しみになるような絵本がたくさんラインナップされています。

『ちいさなかぐのとも』 対象年齢3-4.5歳

身近だけれど知らないことがたくさん紹介されていて、大人も驚きの連続です。ものがたり絵本とはまた違った楽しみ方ができる科学絵本です。

『かがくのとも』 対象年齢5-6歳

科学絵本なのですが、図鑑のように紹介されているのではなくストーリー性があるためより深くものごとについて知ることができるような気がします。紹介されたことを家族で実験したり調べたりする楽しみ方もあるかもしれません。これを読み終わるとそのテーマの博士になれそうです。



▲既に図書館にある福音館書店の子ども向け雑誌

『たぐさんのふしぎ』 対象年齢:小学3年生以上

第一線で活躍する専門家や研究者がその分野について紹介してくれます。対象年齢が高いだけあって、文章は長く、内容も深く、大人でも読みごたえがある雑誌です。

対象年齢を書かせていただきましたが、その年齢の本を選らばなければいけないということはないと思います。年齢を超えてお子さんが読みたいもの、お父さんお母さんが読みたい絵本を選び、楽しめることが一番大切だと思います。我が家でも小学生の子どもたちが今でも未就学児用の絵本を楽しんでいます。いつ読んでも、何歳になっても、そのたびに新しい発見があるのかもしれない。

今回ご紹介した福音館書店の過去の子ども向け雑誌は寄贈されたものも既にたくさんあります。場所は学習漫画の歴史や伝記の向かい側の書架です。雑誌自体は薄く題名が読みにくいものもあるので、手に取りづらいと思っている方も多いかもしれませんが、ハードカバーにはない人気シリーズの絵本などもあります。ぜひお気に入りの一冊を見つけてみてください。(下保木真澄)

ピーカンキッズ 今後の開催予定 ※ボランティアスタッフは随時募集中です。

あそぼーかい pecan.asobo@gmail.com

11月5日(金)午前10:00より/11月18日(木)午前10:00より

「あそぼーかい」は月に2回開催しています。初めてのちびっこもお待ちしております。次回のあそぼーかいの予約サイト(対面)やZoomリンク等の詳細はヒューストンなびに掲載予定です。また、止むをえず中止や予定変更になる場合もヒューストンなびにてお知らせします。

読み聞かせの会 houstonyomikikase@gmail.com

開催日は未定です。 [商工会HP](http://www.kaiwa.com)にてご確認ください。